

LegalOS v1.0.0 管理者マニュアル

製品名	LegalOS
バージョン	v1.0.0
文書種別	管理者マニュアル
対象読者	システム管理者
最終更新	2026-04-15

1. LegalOS の概要

LegalOS は、社内法務依頼の受付・進捗管理・ファイル管理を一元化する
デスクトップアプリケーションです。

Windows

営業部門からの法務レビュー依頼を起点に、受付 → レビュー → 返却 →
承認の一連のフローを、ロールに応じた画面で管理します。

対象ロール

ロール	説明
営業担当 (requester)	契約レビュー依頼の提出・再提出
法務担当 (legal)	依頼の受付・レビュー・返却
法務責任者 (legal_manager)	案件の割当・直接着手・決裁者への回付
決裁者 (approver)	稟議書の承認・条件付承認・差戻し
監査担当 (auditor)	監査ログの閲覧・Audit Pack の確認
システム管理者 (system_admin)	ユーザー管理・承認経路設定・システム設定

2. 配布物一覧

導入先に配置するファイルは以下のとおりです。

```
LegalOS/
├── LegalOS.exe          アプリケーション本体（約 26 MB）
├── legaldesk_config.yaml 設定ファイル（★ 編集必須）
├── LICENSE.txt          利用許諾書
└── README_セットアップ.txt セットアップ手順書
```

- ・ 設定ファイル名は内部名称のため legaldesk_config.yaml のままです。
- ・ DB ファイル（legaldesk.db）は初回起動時に自動生成されます。
- ・ 案件フォルダ（Data/General/、Data/Confidential/）も自動作成されます。

3. 初回起動とセットアップ

3.1 設定ファイルの編集

LegalOS.exe と同じフォルダにある legaldesk_config.yaml をテキストエディタで開き、以下を設定してください。

設定項目	キー名	説明	設定例
会社名	company_name	ログイン画面に表示される会社名	"株式会社サンプル"
ファイル保存先（一般）	storage_root_general	案件フォルダの保存先	"./Data/General"
ファイル保存先（機密）	storage_root_legal_only	機密案件の保存先	"./Data/Confidential"
無操作タイムアウト	idle_timeout_minutes	自動ログアウトまでの分数	15
案件 ID 接頭辞	request_id_prefix	案件番号のプレフィックス	"LG"
SLA 営業日数	sla_business_days	法務回答の目標日数	5

共有ドライブで運用する場合は、UNC パスを指定します。

```
storage_root_general: "¥¥¥¥server¥¥share¥¥LegalOS¥¥General"
storage_root_legal_only: "¥¥¥¥server¥¥share¥¥LegalOS¥¥Confidential"
```

3.2 初回起動

1. LegalOS.exe をダブルクリックします。
2. 初回起動時は 初期設定画面 が表示されます。
3. 管理者アカウント（system_admin ロール）のログイン ID とパスワードを設定します。
 - ・ パスワードは 8 文字以上 で設定してください。
4. 設定完了後、ログイン画面が表示されます。

4. 管理者アカウント作成

初期設定画面で作成した管理者アカウントでログインすると、管理画面にアクセスできます。

管理画面の開き方: ファイル メニュー > 設定

管理画面には以下の 4 つのタブがあります。

タブ	機能
ユーザー管理	ユーザーの追加・編集・無効化・パスワードリセット
部署管理	部署の追加・編集
承認経路設定	承認フローの種別・運用モードの設定
認証監査ログ	ログイン履歴・操作ログの閲覧

5. 部署追加

管理画面 > 部署管理 タブで部署を登録します。

1. 部署コード（英数字）と部署名を入力します。
2. 「追加」を押して登録します。

部署はユーザーの所属先として使用します。1 ユーザーに複数部署を割り当てることも可能です。

部署の追加と運用ルール

- ・ 任意追加: 初期候補（営業部・法務部など）に加えて、ユーザー管理画面の「+ 部署追加」から任意の部署を追加できます。追加した部署はその場で選択可能になります。
- ・ 部署が不要なロール: 決裁者（approver）とシステム管理者（system_admin）は組織横断のロールのため、部署未設定でも保存できます。
- ・ 同名部署の重複禁止: 既に存在する部署名と同じ名前では新規作成できません。過去に無効化した部署を再度使いたい場合は、部署管理タブから既存部署を再有効化してください。

6. ユーザー追加

管理画面 > ユーザー管理 タブでユーザーを作成します。

入力項目

項目	必須	説明
ログイン ID	必須	ログインに使用する ID（作成後は変更不可）
表示名	必須	画面に表示される名前
役職名	任意	役職（例：取締役、部長）。一覧に表示されます
部署	条件付	所属部署。営業・法務・監査ロールには必須
ロール	必須	権限ロール（複数選択可）
初期パスワード	必須	8 文字以上。初回ログイン時に変更を求められます

ユーザーの無効化

退職・異動などでアカウントを停止する場合は、ユーザー一覧から対象ユーザーを選択し「無効化」を実行します。無効化されたアカウントではログインできなくなります。

パスワードリセット

ユーザーがパスワードを忘れた場合は、管理画面から新しいパスワードを設定できます。リセット後、次回ログイン時にパスワード変更が求められます。

7. ロール付与

各ユーザーには 1 つ以上のロールを付与します。ロールによって利用できる画面と操作が決まります。

ロール	画面	操作権限
requester	営業ホーム	新規依頼・ファイル添付・再提出
legal	法務ホーム	ステータス変更・質問・返却・回付
legal_manager	法務ホーム	legal の全操作 + 決裁者への回付・直接完了
approver	決裁者ホーム	承認・条件付承認・差戻し
auditor	監査画面	全案件閲覧・監査ログ閲覧（操作は不可）
system_admin	管理画面	ユーザー管理・承認経路・監査ログ

部署非依存ロール

決裁者（approver）とシステム管理者（system_admin）は部署に紐づかないロールです。決裁者は特定部署の所属者ではなく、組織横断で承認権限を持つ役割を想定しています。これらのロールは部署未設定でも保存できます。

営業担当・法務担当・法務責任者・監査担当は部署依存ロールのため、所属部署の選択が必要です。

1 ユーザーに複数ロールを付与した場合は、メニューの ロール切替 で切り替えられます。

8. 承認経路設定

管理画面 > 承認経路設定 タブで、案件の承認フローを設定します。

運用モード

モード	説明
分業運用 (STANDARD)	法務担当と法務責任者が別の体制
一人法務 (SINGLE_LEGAL)	法務責任者のみの体制

承認フロー

フロー	経路	想定場面
標準 (FULL)	法務担当 → 法務責任者 → 決裁者	最も厳格 (推奨)
責任者スキップ (SKIP_MANAGER)	法務担当 → 決裁者	責任者チェックが不要な場合
責任者のみ (MANAGER_ONLY)	法務責任者 → 決裁者	一人法務体制向け
決裁者なし (NO_APPROVAL)	法務責任者で完結	法務部門内で完結させる場合

決裁回付先

方式	説明
手動選択 (MANUAL)	回付時に決裁者を一覧から選択
固定 (FIXED)	事前に設定した決裁者に自動回付

不整合防止

運用モードとフロー種別の組合せはシステムが自動制御します。無効な組合せは選択できません。

- ・ 分業運用モード → 「責任者のみ」「決裁者なし」は選択不可
- ・ 一人法務モード → 「標準」「責任者スキップ」は選択不可
- ・ 「決裁者なし」選択時 → 決裁回付先の設定は無効化

保存時にも整合性チェックが行われ、不整合があればエラーメッセージが表示されます。

9. 監査ログの見方

管理画面 > 認証監査ログ タブで、システム全体の操作ログを閲覧できます。

フィルタ条件

項目	説明
期間 (From / To)	日付範囲で絞り込み
種別	イベント種別で絞り込み（下表参照）
ユーザー	ログイン ID で絞り込み

記録されるイベント一覧

イベント	説明
ログイン成功 / 失敗	認証の成功・失敗
ログアウト	手動ログアウト・自動ログアウト
パスワード変更 / リセット	パスワード操作
ユーザー作成 / 更新 / 無効化	ユーザー管理操作
ロール付与 / 剥奪	ロール管理操作
承認経路変更	承認フロー設定の変更
ロール切替	ユーザーがロールを切り替えた
決裁実行	承認・条件付承認・差戻し
差戻し実行	法務責任者・決裁者からの差戻し
ステータス変更	案件ステータスの遷移
稟議書出力	Decision Memo の出力
ファイル開封	案件ファイルの閲覧
不正アクセス拒否	権限外操作の検出

10. 運用開始前チェックリスト

以下の項目を確認してから、利用者にアカウントを配布してください。

- [] legaldesk_config.yaml の保存先パスが正しく設定されている
- [] company_name にログイン画面に表示する会社名が設定されている
- [] idle_timeout_minutes が適切な値に設定されている（推奨：15）
- [] 管理者アカウントでログインし、管理画面が開ける
- [] 必要な部署がすべて登録されている
- [] 各利用者のユーザーアカウントが作成されている
- [] 各ユーザーに適切なロールが付与されている
- [] 承認経路が自社の承認体制に合わせて設定されている
- [] テスト案件を 1 件作成し、ステータス遷移が正しく動作する
- [] 監査ログにテスト操作が記録されている
- [] 共有ドライブ運用の場合、全利用者から保存先パスにアクセスできる
- [] 各利用者に初期パスワードを安全な方法で通知する手順が決まっている

11. 注意事項

無操作ログアウト

- ・ 一定時間（デフォルト 15 分）操作がない場合、自動的にログアウトされます。
- ・ 「一定時間操作がなかったため、自動的にログアウトしました。」と表示されます。
- ・ `idle_timeout_minutes` を 0 に設定すると無効化できますが、セキュリティ上推奨しません。

アカウントロック

- ・ ログインに 5 回連続で失敗すると、15 分間アカウントがロックされます。
- ・ ロック中のユーザーからの問い合わせには、15 分後の再試行を案内するか、管理画面からパスワードをリセットしてください。

内部ファイル名について

- ・ 設定ファイル名 `legaldesk_config.yaml` および DB ファイル名 `legaldesk.db` は、内部名称として現バージョンではそのまま使用しています。
- ・ アプリケーションの表示名・EXE 名はすべて LegalOS に統一されています。
- ・ ユーザーに案内する際は「LegalOS」の名称を使用してください。

共有ドライブ運用時の注意

- ・ SQLite の SMB 共有運用にはリトライ機構が組み込まれていますが、同時書き込みが頻繁な場合はネットワーク遅延の影響を受けることがあります。
- ・ EXE ファイルは各ユーザーのローカルに配置し、データのみ共有ドライブに保存する構成を推奨します。

機密案件の分離保管

- ・ 機密案件として登録された案件は、`storage_root_legal_only` で指定したフォルダに保存されます。
- ・ 機密案件は法務ロール以外のユーザーの一覧には表示されません。
- ・ 保存先のアクセス権を適切に設定してください。

目次

LegalOS v1.0.0 管理者マニュアル	1
1. LegalOS の概要	2
2. 配布物一覧	3
3. 初回起動とセットアップ	4
4. 管理者アカウント作成	5
5. 部署追加	6
6. ユーザー追加	7
7. ロール付与	8
8. 承認経路設定	9
9. 監査ログの見方	10
10. 運用開始前チェックリスト	11
11. 注意事項	12